

経営比較分析表

岐阜県 関ヶ原町

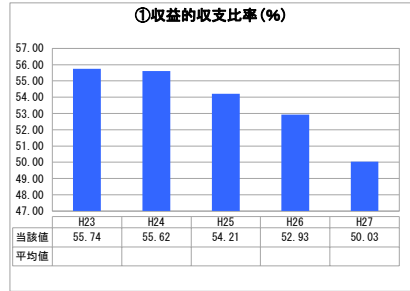
業務名	業種名	事業名	類似団地区分	
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cd2	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡ ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	76.27	98.99	3,450

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
7,569	49.28	153.59
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
5,716	2.86	1,998.60

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成27年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



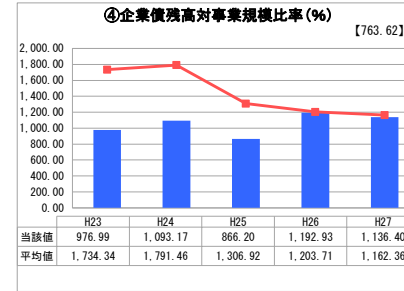
「単年度の収支」



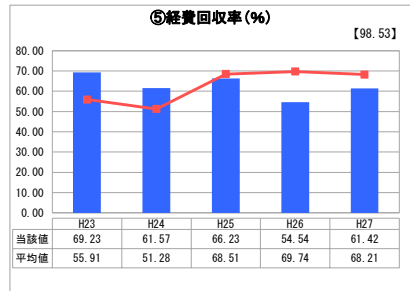
「累積欠損」



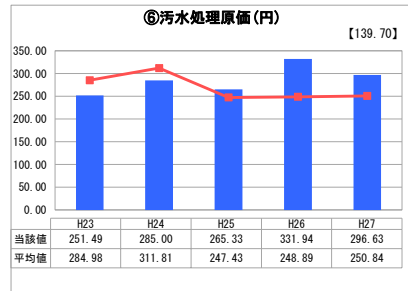
「支払能力」



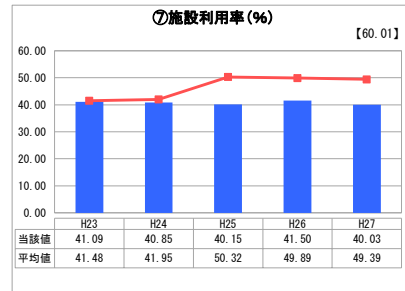
「債務残高」



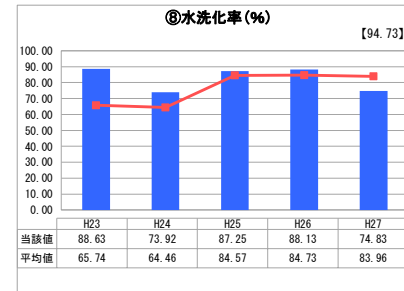
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

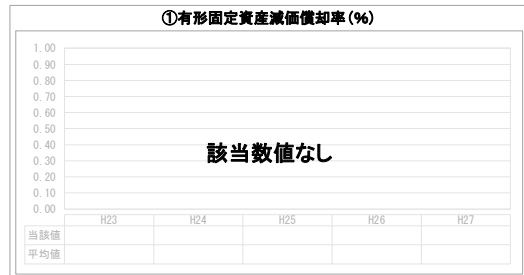


「施設の効率性」

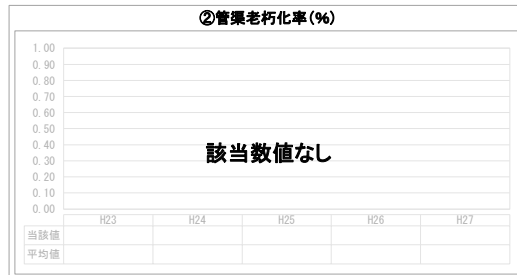


「使用料対象の捕捉」

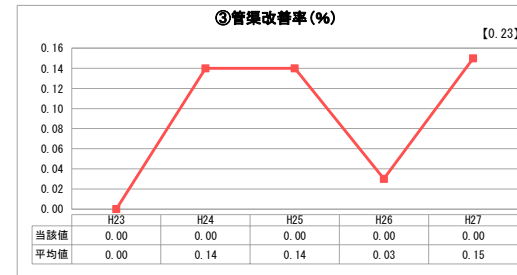
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率は年々減少傾向にあるが、維持管理費は使用料収入で概ね賄えているが、企業債の償還を一般会計からの繰入に依存している状況である。本来、一般財源で負担すべき経費については、一般会計から適正な繰入を求めることにより改善を図る。企業債残高対事業規模比率が高い水準になっているが、企業債残高はピークを過ぎ、今後減少傾向のため低下していく見通しである。

又、施設利用率が低迷しているのは、人口減により処理水量が減少傾向にあるためである。町広報紙掲載や戸別訪問等により接続促進を強化し、水洗化率の向上に努める。

2. 老朽化の状況について

法定耐用年数50年を超えた管渠はなく（最長20年経過）、更新・改良した実績はない。平成27年度総合地震対策計画及び長寿命化計画を策定し、平成28～32年度において処理場・管路の耐震補強工事や処理場電気・機械設備の改築・更新工事を行い、機能強化を図る。

全体総括

企業債元利償還金は今後しばらく、同水準で推移していくため、予防保全管理を導入し、長期的な改善需用の見通しをたて、財政規模にあわせて標準化、最適化を計る。

又、老朽化がすすむ農業集落排水玉処理区を平成30年度までに統合し、維持管理費の軽減を計る。

※ 法適用企業と類似団地区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成23年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。